IEEE1394 ハードディスク

# DiF-GT シリーズ

## ユーザーズマニュアル



Q&A インターネットで弊社製品のQ&A情報を入手できます。
http://buffalo.melcoinc.co.jp/qa/index.html

# 本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

## 表記上の約束

注意マーク ........ ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ➘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

## 文中の用語表記

・本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
A:フロッピーディスクドライブ
C:ハードディスクドライブ

・「i.LINK」、「FireWire」、「IEEE1394」は同じインターフェースです。本書では「i.LINK」と「FireWire」を「IEEE1394」と表記しています。

・文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB＝$1000^3$byteで計算しています。OSやアプリケーションでは1GB＝$1024^3$byteで計算されているため、表示される容量が異なります。



■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

# 安全にお使いいただくために必ずお守りください

**お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。**
**正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。**
**パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。**

## ■使用している表示と絵記号の意味

### 警告表示の意味

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | 絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ 注意 | この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。 |

### 絵記号の意味

| | |
|---|---|
| △ | △は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：⚡感電注意)が描かれています。 |
| ⊘ | ○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。<br>○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：分解禁止） |
| ● | ●は、しなければならない行為を示す記号です。<br>●の近くに、具体的な指示内容（例：プラグをコンセントから抜く）が描かれています。 |

## ⚠ 警告

**本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。**

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電したりする恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

**風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。**

火災になったり、感電、故障する恐れがあります。

分解禁止

**本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。**

火災・感電・故障の恐れがあります。また、本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

**煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。**

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電したりする恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

**本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐに電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。**

本製品は精密機器です。衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。衝撃は本製品の故障の原因となります。

**AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。**

海外などで異なる電圧で使用するとショートしたり、発煙や火災の恐れがあります。

**濡れた手で本製品に触れないでください。**

パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても故障の原因となります。

**電源コードを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。**

- 設置時に、電源コードを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしなでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱したりしないでください。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源コードを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源コードが傷んだら、弊社インフォメーションセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

**小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。**

**電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。**

さわってけがをする恐れがあります。

**本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告や注意指示に従ってください。**

**ACアダプタ、i.LINKケーブルは必ず本製品付属のもの、または同等のもの（弊社製接続キット）をご使用ください。**

本製品付属以外のACアダプタ、i.LINKケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。本製品の故障の原因ともなります。

強制

**電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。**
**差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。**

## ⚠ 注意

禁止

**ハードディスク、MO、フロッピーディスクドライブなどのデータの格納用機器へのアクセス中は、パソコンや機器の電源をOFFにしたり、リセットしたりしないでください。**

データを消失、破損する恐れがあります。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制

**各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。**
**各接続コネクタには手を触れないでください。**

故障の原因となります。

禁止

**本製品の上に物を置かないでください。**

傷がついたり、故障の原因となります。

禁止

**通風口をふさいだり、他の機器と密着させないでください。**

故障の原因となります。

禁止

**アクセスランプが点灯している間は、電源スイッチをOFFにしたり、システムをリセットしたりしないでください。**

禁止

**シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。**

本製品のよごれは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

強制

**静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。**

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。

強制

**パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカの定める手順に従ってください。**

強制

**電源スイッチのON/OFFは、少なくとも数秒の間隔をあけて行ってください。**

本製品の故障、データの消失、破損の恐れがあります。

**ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MOディスク等）にバックアップしてください。**

とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。

・誤った使い方をしたとき
・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
・故障、修理などのとき
・パソコンの電源スイッチをOFFにした直後に、すぐに電源スイッチをONにしたとき
・天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

**本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータをすべてMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。**

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください

**次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。**

・強い磁界や静電気が発生するところ
・直射日光が当たるところ
・ほこりの多いところ
・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
・振動が発生するところ　→けが、故障、破損の原因となります。
・平らでないところ　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・火気の周辺、または熱気のこもるところ
　→故障や変形の原因となります。
・漏電または漏水の危険があるところ
　→故障や感電の原因となります。

**本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。**

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

# 目 次

# はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

## 特徴

● IEEE1394（i.LINK、FireWire）に対応
高速シリアルインターフェースIEEE1394に対応しています。最大400Mbps（理論値）でのデータ転送が可能です。

● プラグ＆プレイ、ホットプラグに対応
本製品やパソコンの電源が入った状態でも、ケーブルを抜き差しして自由につなぎ替えられます。

※ ただし、ケーブルを抜く際は、必ず定められた手順に従って作業してください。【P19「取り外しかた」】

● 最大63台の機器を接続できます。
ツリー型接続の場合は最大63台（パソコンを含む）、デイジーチェーンの場合は最大17台（パソコンを含む）の機器を接続できます。また、機器間のケーブルの長さは最大4.5mです。

● 本製品は起動用ハードディスクとしては使用できません（OSを起動できません）。あらかじめご了承ください。

● フォーマットユーティリティ「Disk Formatter」標準添付（WindowsMe/98用）
簡単な操作でハードディスクをフォーマットできます。

※ WindowsMe/98でハードディスクをフォーマットするときは、必ずDisk Formatterを使用してください。OS付属のフォーマッタは使用しないでください。

※ Disk Formatterについての詳細は、別冊「Disk Formatter ソフトウェアマニュアル」を参照してください。

※ Windows2000を使用している場合は、OSのフォーマット機能でフォーマットします。

● 「Disk Drive TuneUp-SE」標準添付（Macintosh用）
ハードディスクをマウントし、フォーマットするためのソフトウェア「Disk Drive TuneUp-SE」（ソフトウェアアーキテクツ社製）が付属しています。

※ Disk Drive TuneUp-SEについての詳細は、別紙「Disk Drive TuneUp-SE クイックリファレンス」を参照してください。

# パッケージの内容

**パッケージには、次の物が梱包されています。万一、不足している物がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、本体形状はイラストと異なることがあります。**

●ハードディスク(本体) ............... 1台

●IEEE1394ケーブル(転送速度:400Mbps)
6ピン←→6ピン(1m) ............... 1本
4ピン←→6ピン(1m) ............... 1本

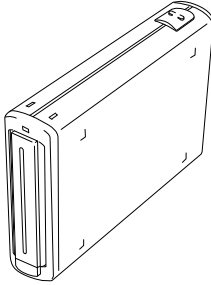
●ACアダプタ ....................... 1個

●電源ケーブル ..................... 1本

●縦置き用スタンド .................. 2個

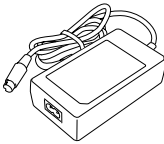
※ ハードディスクを縦置きにするときに使用します。【P13】

●スタックスペーサ .................. 2個

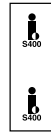
※ ハードディスクや同じ形の弊社製ドライブを積み重ねるときに使用します。【P16】

●ゴム足 .......................... 4個

※ ハードディスクを横置きにするときに、底面のくぼみに貼り付けます。【P14】

●イルミネーションパーツ ............... 2個

※ パープルとグラファイトの2色があります。ハードディスクの電源ランプの上に取り付けます。【P15】

●BUFFALOシール ................... 1枚

●i.LINKシール .................... 1枚

※ Windows搭載パソコンにハードディスクを接続する場合に、ハードディスクの背面に貼ります。
【P9「各部の名称」】

●FireWireシール ................... 1枚

※ Macintoshにハードディスクを接続する場合に、ハードディスクの背面に貼ります。
【P9「各部の名称」】

●DiF-GTユーティリティディスク
(フロッピーディスク) ................ 1枚

※ Windonws搭載パソコン用のユーティリティ「マイクロソフト社IEEE1394デバイスドライバ」、「Disk Formatter」が収録されています。

●Disk Drive TuneUp-SE(Macintosh用)

- CD-ROM ..........................1枚
- クイックリファレンス ..................1枚
- ユーザー登録カード（ソフトウェアアーキテクツ社） .........1枚
- シリアル番号シール（ソフトウェアアーキテクツ社） .........1枚

●ユーザーズマニュアル（本書） ........ 1冊

●Disk Formatter ソフトウェアマニュアル ..1冊

●ソフトウェア使用許諾書 ..............1枚

●ユーザー登録はがき、保証書 ..........1枚

※ ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は、大切に保管してください。

※ 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

# 各部の名称

●前面

●背面

電源スイッチ
前面方向にスライドするとON、背面方向にスライドするとOFFになります。

ON
OFF

IEEE1394端子(6ピン)

ACアダプタ用コネクタ

フック

シール貼り付け位置
Windows搭載パソコンの場合はi.LINKシールを、Macintoshの場合はFireWireシールを貼ります。

# 作業のながれ

**パソコンの電源スイッチをONにする**

▼

- WindowsMeを使用している場合 ...... 付属のフロッピーディスク「DiF-GTユーティリティディスク」で「Disk Formatter」をインストールする
【P12「Disk Formatterのインストール(WindowsMe/98)」参照】
- Windows98を使用している場合 ..... 付属のフロッピーディスク「DiF-GTユーティリティディスク」で「マイクロソフト社IEEE1394デバイスドライバアップデート」と、「Disk Formatter」をインストールする
【P11「IEEE1394デバイスドライバのアップデート(Windows 98)」、P12「Disk Formatterのインストール(WindowsMe/98)」参照】
- Windows2000を使用している場合 ... 特にソフトウェアをインストールする必要はありません。
- Macintoshを使用している場合 ..... 付属の「Disk Drive TuneUp-SE」をインストールする
【別紙「Disk Drive TuneUp-SE クイックリファレンス」参照】

▼

**ハードディスクをパソコンに接続する【P17】**

▼

- WindowsMe/98を使用している場合 .. Disk Formatterでハードディスクをフォーマットする【P21】
- Windows2000を使用している場合 .... OSのフォーマット機能でハードディスクをフォーマットする【P22】
- Macintoshを使用している場合 ...... Disk Drive TuneUp-SEでハードディスクをフォーマットする【P27】

※ ハードディスクは、物理フォーマットだけが行われた状態で出荷されています。使用する前に必ず論理フォーマットしてください。

# 2 接続

本製品をパソコンに接続する方法と、接続時の注意事項を説明しています。

## 接続の前に（Windows 搭載パソコン）

本製品をパソコンに接続する前に、マイクロソフト社 IEEE1394 デバイスドライバアップデートおよび Disk Formatter をインストールします。

⚠注意 マイクロソフト社 IEEE1394 デバイスドライバアップデートおよび Disk Formatter は、Windows2000 では使用しません。Windows2000 を使用している場合は、以下の手順は不要です。

### Unplug Utility のアンインストール（Windows98）

弊社製 IEEE1394 対応ハードディスクに付属のソフトウェア「Unplug Utility」がパソコンにインストールされている場合は、次の手順でアンインストールしてください。Unplug Utility と IEEE1394 デバイスドライバアップデートは併用しないでください。

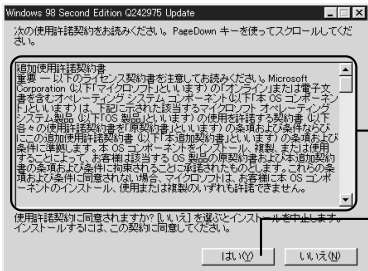
**1** ［スタート］－［設定(S)］－［コントロールパネル(C)］を選択します。

**2** ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

**3** 一覧から「Unplug Utility のアンインストール」を選択し、［追加と削除(R)］ボタンをクリックします。

**4** 以降は画面の指示に従って操作します。

以上で Unplug Utility のアンインストールは完了です。

### IEEE1394 デバイスドライバのアップデート（Windows98）

付属のフロッピーディスク「DiF-GT ユーティリティディスク」でドライバをアップデートすることにより、本製品のパフォーマンスが向上します。また、IEEE1394 機器を接続したままパソコン本体の省電力機能（サスペンド／レジューム機能など）を使用することもできるようになります。Windows98 を使用している場合は必ずインストールしてください。

**1** 付属のフロッピーディスク「DiF-GT ユーティリティディスク」をフロッピーディスクドライブにセットします。

**2** ［スタート］－［ファイル名を指定して実行(R)］を選択します。

次のページへ続く

**3** **［名前(O)］にA:\1394DRV\242975JPN8.EXEと入力し、［OK］ボタンをクリックします。**

下線部にはフロッピーディスクドライブ名を入力します。

**4**

［はい(Y)］ボタンをクリックします。

**5**

① 使用許諾契約のメッセージをよく読みます。

② 使用許諾契約に同意するときは［はい(Y)］ボタンをクリックします。

自動的にドライバがインストールされます。

※［いいえ(N)］ボタンをクリックすると、インストールは中断されます。

**6** **「ここで再起動しますか?」というメッセージが表示されたら、「DiF-GTユーティリティディスク」をフロッピーディスクドライブから取り出し、［はい(Y)］ボタンをクリックします。**

Windowsが再起動します。

以上でIEEE1394デバイスドライバアップデートのインストールは完了です。

## Disk Formatterのインストール（WindowsMe/98）

Disk Formatterは、WindowsMe/98で本製品をフォーマット（初期化）するためのユーティリティです。本製品をパソコンに接続する前に次の手順でインストールしてください。

⚠注意 **本製品は必ずDisk Formatterを使用してフォーマットしてください。OS付属のフォーマッタは使用しないでください。**

**1** **付属の「DiF-GTユーティリティディスク」をフロッピーディスクドライブにセットします。**

**2** **［スタート］－［ファイル名を指定して実行(R)］を選択します。**

**3** **［名前(O)］にA:\FORMAT\SETUP.EXEと入力し、［OK］ボタンをクリックします。**

下線部にはフロッピーディスクドライブのドライブ名を入力します。

**4** **以降は画面の指示に従って操作します。**

以上でDisk Formatterのインストールは完了です。

メモ Disk Formatterの詳細は、別冊「Disk Formatterソフトウェアマニュアル」を参照してください。

# 接続の前に（Macintosh）

Disk Drive TuneUp-SE は、Macintosh で本製品をフォーマット（初期化）するために必要なユーティリティです。 本製品をパソコンに接続する前に、 必ずインストールしてください。

メモ Disk Drive TuneUp-SE のインストール手順は、別紙「Disk Drive TuneUp-SE クイックリファレンス」 を参照してください。

# 接続時の注意

● パソコンおよび本製品は精密機器です。 巻頭の 「安全にお使いいただくために必ずお守りください」を必ず参照し、指示に従ってください。

● 大切なデータを守るため、 本製品を接続する前に、ハードディスクなどに記録されているデータを他のメディア （フロッピーディスクや MO ディスクなど） に保存してください。

● 取り付け作業を始める前に、次の物を用意してください。
- 本製品および付属品
- パソコンと周辺機器のマニュアル

● 取り付け作業をする際は、 必ずパソコン本体と周辺機器のマニュアルを参照してください。

2

接続

# 本製品の設置

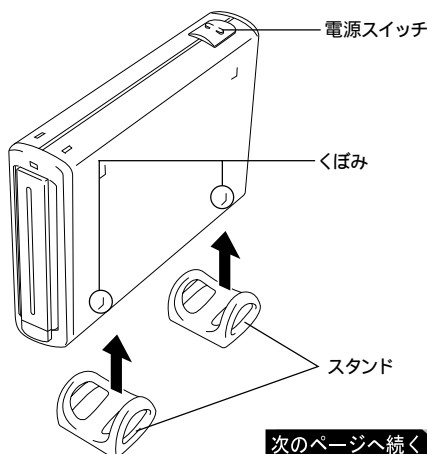
本製品は縦置き、横置きの 2 通りの置きかたができます。

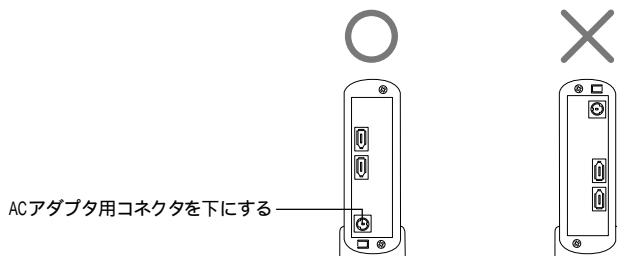
- 縦置きにする場合 ..................【P13】
- 横置きにする場合 ..................【P14】

⚠注意 ・設置作業をする前に、本製品の電源スイッチを必ず OFF にしておいてください。
・動作中本製品を移動させたり、設置方向を変えないでください。本製品の破損の原因となります。

メモ ・本文中では、 本製品を縦置きにした場合を例に説明しています。
・付属のスタックスペーサを使用すれば、横置きにした本製品や同じ形の弊社製ドライブを複数台積み重ねられます。【P16「本製品を積み重ねる場合」】

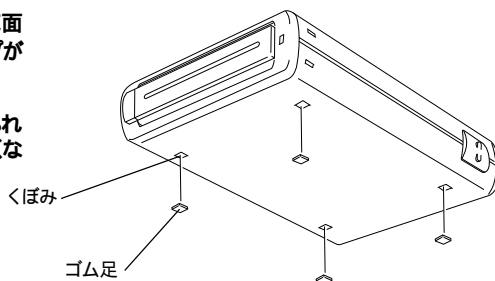
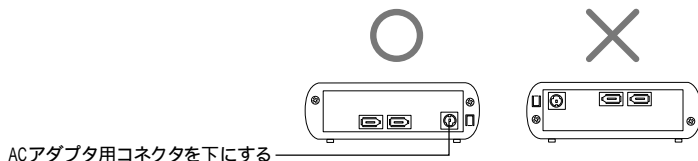
## 縦置きにする場合

図のように、本製品のくぼみに合わせて、付属のスタンドを取り付けます。
電源スイッチが上になるように設置してください。

次のページへ続く

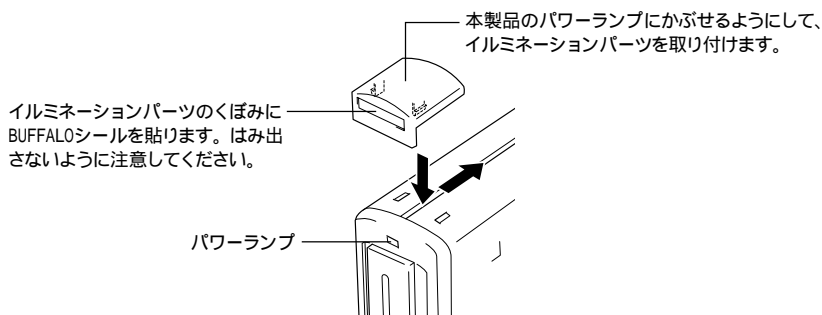
本製品を背面から見たときに、次の状態になるように設置してください。

次へ イルミネーションパーツを取り付けます。【P15 「イルミネーションパーツの取り付け」】

## 横置きにする場合

図のように、付属のゴム足（4 個）を本製品底面のくぼみに取り付けます。ゴム足には両面テープがついています。

**⚠注意** ゴム足を付けるとスタンドが取り付けられなくなるため、本製品を縦置きできなくなります。

本製品を背面から見たときに、次の状態になるように設置してください。

次へ イルミネーションパーツを取り付けます。【P15 「イルミネーションパーツの取り付け」】

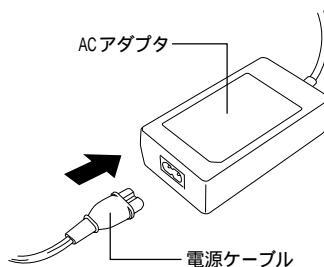
## イルミネーションパーツの取り付け

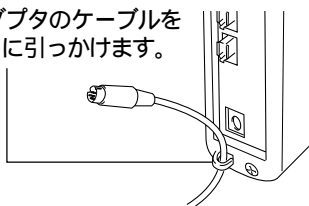
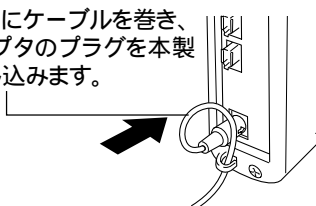
**お好きな色のイルミネーションパーツを取り付けます。**

メモ パワーランプは、イルミネーションパーツを取り付けた時に最適な光量になるよう設計されています。イルミネーションパーツは必ず取り付けてください。

次へ AC アダプタを接続します。【P15 「AC アダプタの接続」】



# AC アダプタの接続

**1 付属の電源ケーブルとACアダプタを接続します。**

**2 AC アダプタを本製品に接続します。**

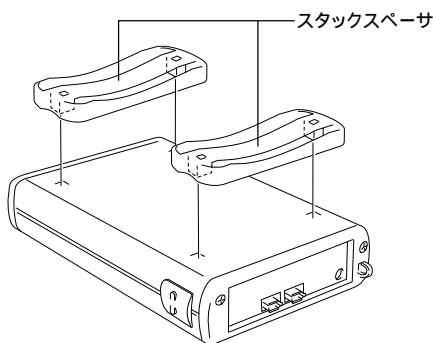
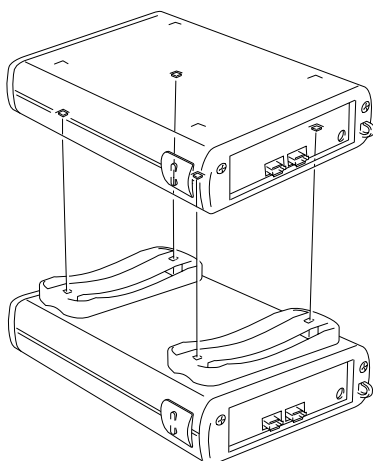
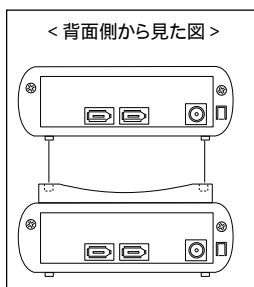
① ACアダプタのケーブルをフックに引っかけます。

② 図のようにケーブルを巻き、AC アダプタのプラグを本製品に差し込みます。

次へ 本製品とパソコンを接続します。【P17 「パソコンとの接続」】

# 本製品を積み重ねる場合

付属のスタックスペーサを使用して、横置きにした本製品を合計 3 台まで積み重ねることができます。

⚠注意 合計4台以上積み重ねないでください。積み重ねた本製品が倒れやすくなります。倒れた場合、衝撃により故障する恐れがあります。

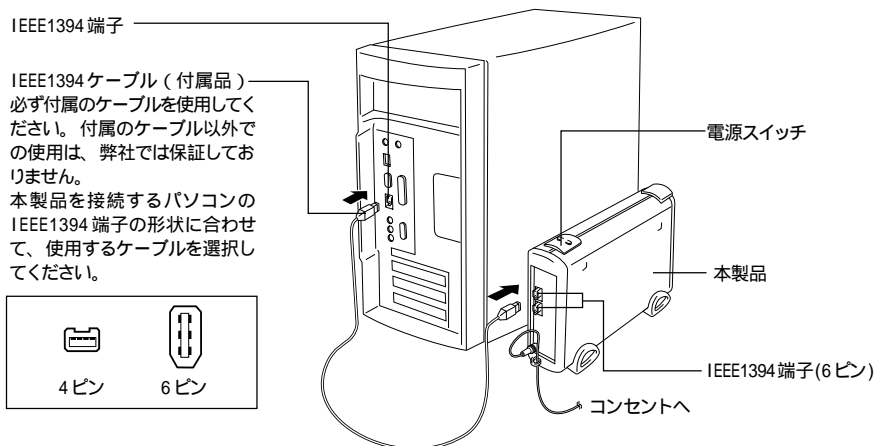
**1** 本製品すべてに、ゴム足（4 個）を取り付けます。
【P14「横置きにする場合」】

**2** 本製品上面のくぼみに合わせてスタックスペーサ（2 個）を載せます。

**3** 上に重なる本製品のゴム足をスタックスペーサのくぼみに合わせて載せます。

メモ 弊社製 MOiF シリーズ、DSC-GT シリーズ、MOS-S640R も積み重ねられます。
弊社製 MOU-R シリーズは積み重ねられません。

# パソコンとの接続

メモ
- WindowsMe搭載パソコンを使用しているときは、本製品をパソコンに接続する前に付属の「Disk Formatter」をインストールしておいてください。【P12】
- Windows98搭載パソコンを使用しているときは、本製品をパソコンに接続する前に付属の「IEEE 1394デバイスドライバアップデート」および「Disk Formatter」をインストールしておいてください。【P11,12】
- Windows搭載パソコンで、IEEE1394端子を装備していない機種を使用しているときは、別売の弊社製IEEE1394インターフェースIFC-ILCB2(/DV)、IFC-IL3(/DV)などを用意し、パソコンに取り付けてください。【IEEE1394インターフェースのマニュアル参照】
- Macintoshを使用しているときは、本製品をパソコンに接続する前に、付属の「Disk Drive TuneUp-SE」をインストールしておいてください。Disk Drive TuneUp-SEをインストールしないと、本製品をパソコンに接続してもマウントされません。【別紙「Disk Drive TuneUp-SE クイックリファレンス」参照】

**パソコンと本製品の電源スイッチをONにし、次の図のように接続します。**

メモ IEEE1394端子が2つ以上ある場合、IEEE1394ケーブルはどの端子に接続しても構いません。



注意
- **Windows搭載パソコンを使用している場合、本製品などのIEEE1394機器をパソコンに接続したときに、「コピーするファイルよりも新しいファイルがコンピュータに存在します。…既存のファイルをそのまま使いますか?」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい(Y)]ボタンをクリックしてください。**
- **IEEE1394ではホットプラグ（※）が可能ですが、本製品にアクセスしているときはケーブルを抜かないでください。**
  **アクセス中にIEEE1394ケーブルを抜くと、本製品が故障するおそれがあります。**
  ※ パソコンの電源スイッチがONの状態でケーブルを抜き差しすること。

次のページへ続く

メモ Windows 搭載パソコンに本製品を接続すると、［デバイス マネージャ］に次のデバイスが追加されます。

WindowsMe/98........［SBP2］内に［SB2 Compliant IEEE 1394 デバイス］が追加されます。［記憶装置］内に［1394/USBディスク］または［IEEE 1394ディスク］が追加されます。

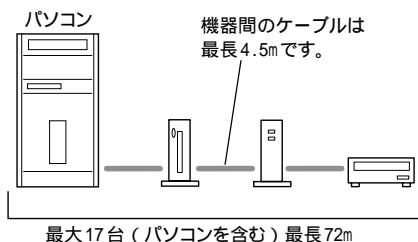
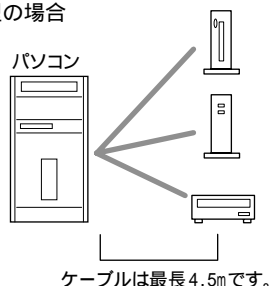
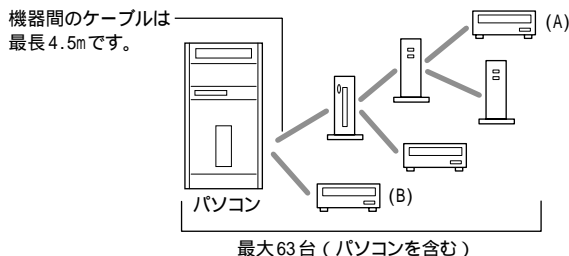
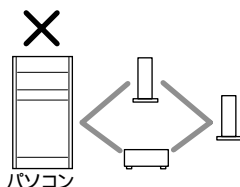
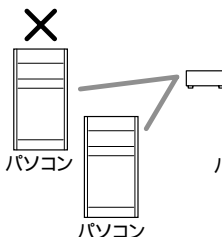
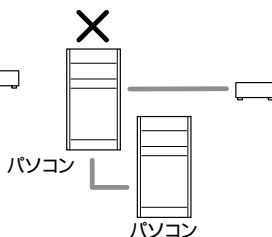
※［デバイス マネージャ］は、［マイ コンピュータ］アイコンを右クリック→［プロパティ(R)］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック　で表示できます。

Windows2000..........［ディスク ドライブ］内に［MELCO INC 1394MEL-HD DRIVE IEEE 1394 SBP2 Device］が追加されます。

※［デバイス　マネージャ］は、［マイ　コンピュータ］アイコンを右クリック→［管理(G)］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック　で表示できます。

## IEEE1394 対応機器を 2 台以上接続する場合

次の図のように接続してください。

**注意 本製品の電源を OFF にすると、本製品以降に接続している機器が使用できなくなります。**

● ツリー型の場合

※終端から終端の機器の間に使用できるケーブル数は最大 16 本（16 ホップ）です。
左図の例での終端は(A)と(B)となり、その間のケーブル数は①〜④の 4 本（4 ホップ）となります。

Windows98の場合、新しくIEEE1394機器を接続したときに次の画面が表示されることがあります。その場合は、Windows98 Second Edition CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして［OK］ボタンをクリックしてください。IEEE1394ドライバがインストールされます。

メモ 「Windows98 Second Edition CD-ROM上の（中略）が見つかりませんでした。」と表示されたときは、［ファイルのコピー元(C):］にE:\WIN98と入力し、［OK］ボタンをクリックします。（下線部にはCD-ROMドライブのドライブ名を入力します。）

すでにIEEE1394ドライバがインストール済みのときは、以前インストールしたドライバを使用します。［はい(Y)］ボタンを数回クリックしてください。

# 取り外しかた

本製品をパソコンから取り外す手順を説明します。パソコン本体のマニュアルも必ず参照してください。パソコンの電源スイッチがONのときは、次の手順で本製品を取り外してください。

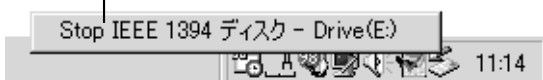
注意
- 必ず次の手順で取り外してください。次の操作を行わずに取り外すと、エラーメッセージが表示されます。
- 本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。本製品が故障するおそれがあります。

## WindowsMe/98

**1**

タスクバーのステータス表示領域にあるアイコン をクリックします。

**2**

［Stop IEEE 1394ディスク - Drive(X:)］をクリックします。
（下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます）

次のページへ続く

**3** 「‘IEEE 1394 ディスク X:’デバイスをコンピュータから取り外しても安全です。」というメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が入ります。

⚠注意 このメッセージが表示されるまでは、絶対に本製品を取り外さないでください。

**4** 本製品をパソコンから取り外します。

以上で本製品の取り外しは完了です。

⚠注意 IEEE1394 機器（本製品を含む）は、必ず終端に接続したものから取り外してください。終端ではない機器を取り外すと、次の警告画面が表示されます。

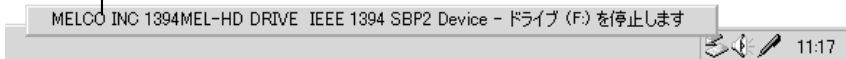
## Windows2000

**1** タスクバーのステータス表示領域にあるアイコン をクリックします。

11:15

**2** [MELCO INC 1394MEL-HD DRIVE IEEE 1394 SBP2 Device - ドライブ (X:) ] をクリックします。
（下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます）

MELCO INC 1394MEL-HD DRIVE IEEE 1394 SBP2 Device - ドライブ (F:) を停止します

11:17

**3** 「‘MELCO INC 1394MEL-HD DRIVE IEEE 1394 SBP2 Device’は安全に取り外すことができます。」というメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

⚠注意 このメッセージが表示されるまでは、絶対に本製品を取り外さないでください。

**4** 本製品をパソコンから取り外します。

以上で本製品の取り外しは完了です。

## Macintosh

**1** 本製品のアクセスランプが消えていることを確認し、デスクトップにあるハードディスク（本製品）のアイコンをゴミ箱にドラッグアンドドロップします。

**2** 本製品を取り外します。

# 使いかた

本製品をフォーマット（初期化）する方法を説明しています。

## フォーマット時の注意

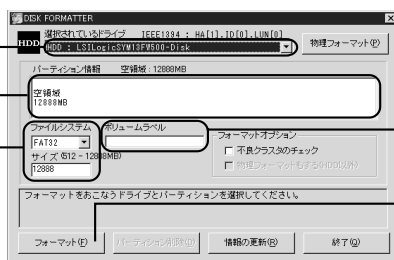
● フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチをOFFにしたり、リセットしないでください。
ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。

● フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、ハードディスクの使用環境をもう一度よく確認してください。
ハードディスクのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。
誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、パーティション名は何か必ず確認しておいてください。

## フォーマットのしかた

### WindowsMe/98

本製品を使用する前に、「Disk Formatter」を使用してフォーマットします。

［スタート］－［プログラム(P)］－［MELCO DISK FORMATTER］－［DISK FORMATTER］の順に選択すると、次の画面が表示されます。

⚠注意
・フォーマットするドライブを間違えないでください。
・FAT16からFAT32に変換する場合は、本製品をもう一度FAT32でフォーマットしてください。OSに付属の「ドライブコンバータ」でFAT16からFAT32に変換すると、エラーが発生し、FAT32に変換できない場合があります。

メモ
・2047MBを超える容量を1つの領域として確保する場合は、［ファイルシステム］に［FAT32］を選択してください。［FAT16］では、1つの領域は最大2047MBとなります。
・Disk Formatterに関する詳細は、別冊「Disk Formatterソフトウェアマニュアル」を参照してください。

## Windows2000

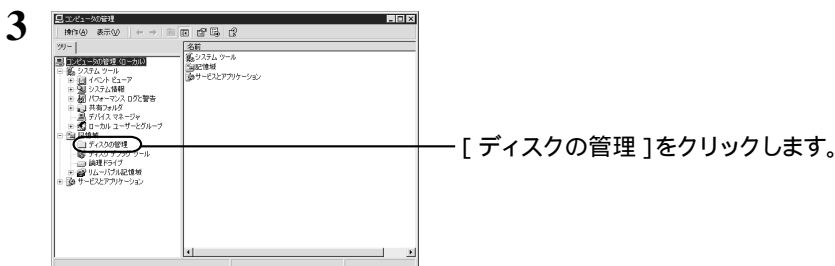
⚠注意 ・本製品付属の「Disk Formatter」は使用しないでください。Disk FormatterはWindows2000には対応していません。

・Windows2000でパーティション（論理ドライブ）のファイルシステムにFAT32を使用する場合、1パーティションあたりの最大容量は32.7GBとなります。

**1** デスクトップ画面の［マイ コンピュータ］アイコンをマウスの右ボタンでクリックします。

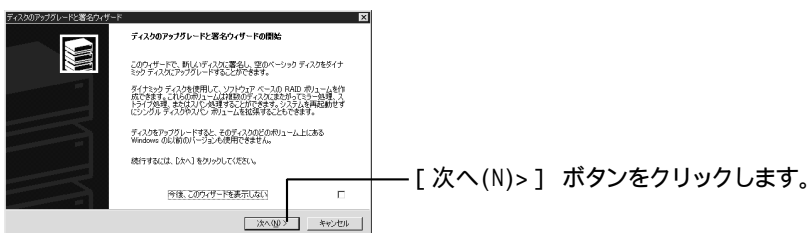
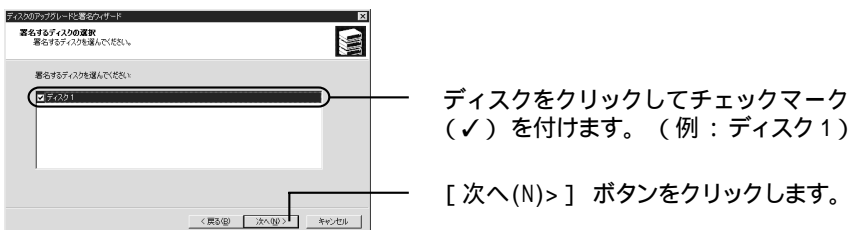
**2** メニューが表示されたら［管理(G)］をクリックします。

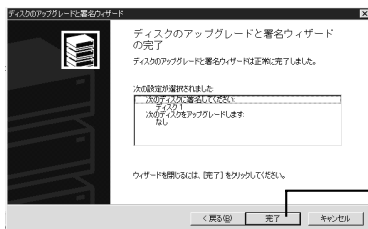
**3**

［ディスクの管理］をクリックします。

**4** 本製品をWindows2000で初めて使用する場合は、次の画面が表示されます。

［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

**5** 署名するディスクを選択します。

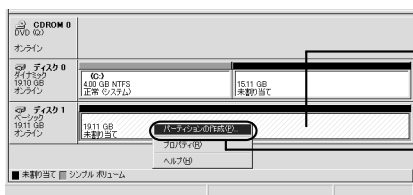
① ディスクをクリックしてチェックマーク（✓）を付けます。（例：ディスク1）

② ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

**6**

**[完了] ボタンをクリックします。**

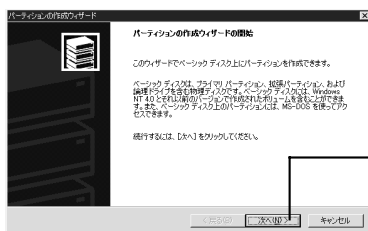
**7**

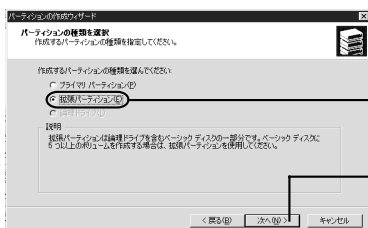
**未割り当て領域が作成されます。**



**8**

**① 未割り当て領域をマウスの右ボタンでクリックします。**

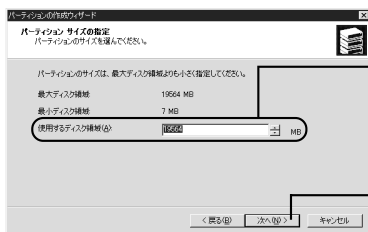
**② メニューが表示されたら [パーティションの作成(P)] をクリックします。**

**9**

**[次へ(N)>] ボタンをクリックします。**

**10**

**① [拡張パーティション(E)] をクリックして (・) を付けます。**

**② [次へ(N)>] ボタンをクリックします。**

次のページへ続く

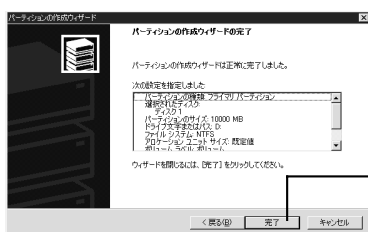
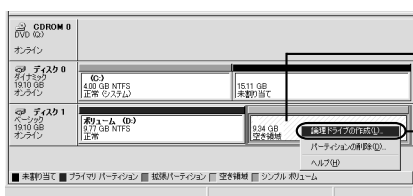
**11**

① ［使用するディスク領域(A)］ でサイズを指定します。

※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

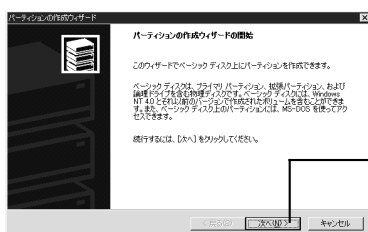
② ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

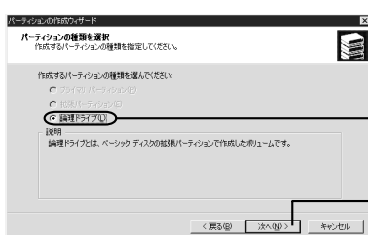
**12**

［完了］ ボタンをクリックします。

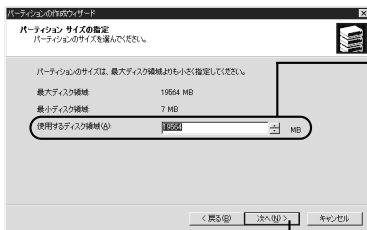
**13**

① 空き領域をマウスの右ボタンでクリックします。

② メニューが表示されたら［論理ドライブの作成(L)］をクリックします。

**14**

［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

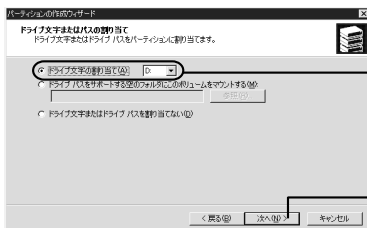
**15**

① ［論理ドライブ(L)］ が選択されていることを確認します。

② ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

**16**

① ［使用するディスク領域(A)］ でサイズを指定します。

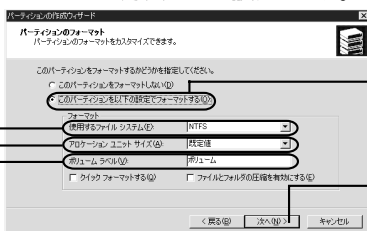
※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。
ファイルシステムに FAT32 を使用する場合は、32700MB(32.7GB)以下の値を指定してください。

② ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

**17**

① ［ドライブ文字の割り当て(A)］ で割り当てるドライブ名を指定します。

※ 特に設定を変更する必要がなければ、初期設定のままにしてください。

② ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

**18** **フォーマット方法などを設定します。**

① ［このパーティションを以下の設定でフォーマットする(O)］ をクリックし、(・) を付けます。

② 各項目を設定したら、 ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

必要に応じて ［ボリュームラベル(V)］ を入力します。

［アロケーションユニットサイズ(A)］ は特に問題のない限り、 初期設定のまま使用します。

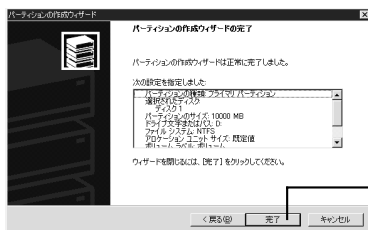
必要に応じて ［使用するファイルシステム(F)］ を変更します。 (※)

※ Windows2000 だけで本製品を使用する場合は、[NTFS]を選択してください。
マルチブート環境などで他の OS からアクセスするパーティションの場合は、[FAT]を選択してください。
ファイルシステムに関する詳細は、 Windows2000 のヘルプを参照してください。

**⚠注意 本製品を初めてフォーマットするとき（本製品にパーティションが1つも存在しないとき）は、［クイックフォーマットする(Q)］にチェックマーク（✓）を付けないでください。チェックマーク（✓）を付けると、フォーマットが正常に終了しません。**

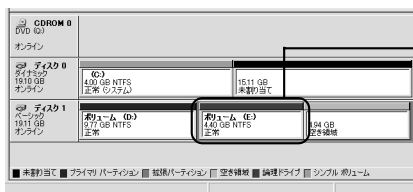
3 使いかた

次のページへ続く

**19**

［完了］ ボタンをクリックします。

フォーマットが始まり、進行状況が%表示されます。

メモ フォーマットを中止する場合は、フォーマット中のパーティションをマウスの右ボタンでクリックし、表示されたメニューの中の［フォーマットの中止(F)］をクリックします。

**20**

フォーマットが正常に終了すると、ボリュームラベルとパーティションに加えて、「正常」と表示されます。

**「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というメッセージが表示された場合**

パーティションは作成されていますが、フォーマットは完了していません。［OK］ボタンをクリックし、作成したパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

**1** 作成したパーティションを右クリックして［フォーマット(F)］を選択します。

**2** 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し、［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

⚠注意 ［クイックフォーマットする(Q)］にチェックマーク（✓）を付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。

**3** 以降は画面のメッセージに従って操作します。

以上でフォーマットは完了です。

メモ 本製品を複数の領域に分割して使用するときは、手順 16 でサイズを指定し、以下手順 20 までを作成する数だけ繰り返します。

## Macintosh

**本製品をはじめて使用するときは、付属の「Disk Drive TuneUp-SE」でフォーマットします。フォーマット方法は、別紙「Disk Drive TuneUp-SE　クイックリファレンス」を参照してください。**

**⚠注意 Mac OS 付属のフォーマッタを使用して本製品をDOS形式でフォーマットした場合、本製品が使用できなくなることがあります。フォーマットには「Disk Drive TuneUp-SE」を使用してください。**

**⚠注意 Power Macintosh G3 でMac OS8.6 以前を使用している場合、本製品をフォーマットできないことがあります。この場合は、Power Macintosh G3 のファームウェアをアップデートしてください。ファームウェアをアップデートするには、アップル社の下記のホームページからアップデートファイルをダウンロードする必要があります。アップデート方法は、アップデートファイルに含まれる「G3 Firmware Update について」を参照してください。**

**アップル社　http://www.apple.co.jp/ftp-info/reference/g3_firmware_update-j.html**

**※インターネットに接続する環境がない場合は、アップル社のサポートセンターにお問い合わせください。**

**※ Mac OS9 をもっている場合は、Mac OS9 の「システムソフトウェア CD-ROM」を使って、ファームウェアをアップデートできます。アップデート方法は、Mac OS9のマニュアルを参照してください。**

**メモ Disk Drive TuneUp-SE の操作方法や製品情報に関しては、ソフトウェアアーキテクツ社日本事務所までお問い合わせください。【別紙「Disk Drive TuneUp-SE　クイックリファレンス」参照】**

**※株式会社メルコでは、Disk Drive TuneUp-SE に関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。**

# 使用上の注意

⚠注意 ・本製品に仮想メモリを割り当てないでください。本製品を取り外した際に、ハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。

・本製品のアクセスランプが点灯または点滅しているときは、絶対にパソコンから本製品を取り外したり、パソコンや本製品の電源スイッチをOFFにしないでください。データが破損するおそれがあります。

・Windows搭載パソコンの省電力モード（サスペンドやレジュームなど）は使用しないでください。省電力モードから復帰できないことがあります。

・Macintoshのスリープ機能は使用しないでください。パソコンをスリープ状態にするときは、事前に本製品を取り外してください。本製品を接続したままスリープ状態にすると、データが破損するおそれがあります。

● 本製品を取り外すときは、必ず定められた手順に従ってください。【P19「取り外しかた」】

● 本製品から OS を起動することはできません。

● 1 台の本製品を複数のパソコンに接続して同時に使用することはできません。

● WindowsMe/98 付属のドライブスペース 3 は使用しないでください。
パソコンの動作が不安定になるおそれがあります。

● ハードディスクの動作時、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが、問題ありません。

● Windowsでフォーマットした本製品を、そのままMacintoshで使用できないことがあります。この場合は、Windows 上で本製品のパーティションを削除した後、Macintosh で再フォーマットしてください。

# 4 付録

## バックアップ

### バックアップの必要性

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。

⚠注意 **ハードディスクを使用する場合は、日常的にバックアップを作成してください。**

### バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

- フロッピーディスク
- 光磁気ディスク（MO）
- 増設ハードディスク
- ネットワーク（LAN）サーバ
- CD-R/RW
- DVD-RAM

大容量ハードディスクのバックアップ先としてフロッピーディスクを選んだ場合、大量のフロッピーディスクが必要になります。また時間もかかるため、効率的な手段とはいえません。可能な限りMOなど容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にすることをおすすめします。

メモ Windows98付属のバックアップツールを使って、MOにデータをバックアップする場合、バックアップするファイル容量の合計がMOディスクの空き容量を超えないようにしてください（Windows98付属のバックアップツールの仕様です）。バックアップするときは必要なファイルだけを選択し、MOディスクの空き容量に納まるようにしてください。

### バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。

リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認して使用してください。

4 付録

# メンテナンス

Windows付属のツールを使用したハードディスクのメンテナンスについて説明します。

## ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク）

Windowsには、ハードディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクを安全に使用するために、ハードディスクを定期的にチェックすることをおすすめします。

メモ
- エラーのチェック方法は、Windowsのヘルプやマニュアルを参照してください。
- Macintoshには、ハードディスクのエラーをチェックするためのツールは付属していません。ディスクのチェックには、市販のユーティリティを使用してください。

## ハードディスクの最適化（デフラグ）

ハードディスクを長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが分断されてディスクのあちらこちらに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちらこちらにアクセスしなくてはいけないため、時間がかかっています。

このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを、最適化（デフラグメンテーション）といいます。ハードディスクを最適化すると、ディスクアクセスの速度が改善されます。

Windowsには、断片化したハードディスクを最適化するためのツールが付属しています。ハードディスクを快適に使用するために、定期的にハードディスクを最適化することをおすすめします。

メモ
- 最適化の方法は、Windowsのヘルプやマニュアルを参照してください。
- Macintoshには、ハードディスクを最適化するためのツールは付属していません。ディスクの最適化には、市販のユーティリティを使用してください。

# Disk Formatterのアンインストール

付属ソフト「Disk Formatter」が不要になったときは、以下を参照してアンインストールしてください。

⚠注意 WindowsMe/98からWindows2000へアップグレードするときは、必ず事前にDisk Formatterをアンインストールしてください。

1. [スタート] – [プログラム(P)] – [MELCO DISK FORMATTER] – [アンインストーラ] の順に選択します。

2. 以降は画面の指示に従って操作します。

以上でDisk Formatterのアンインストールは完了です。

# 仕様

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）を参照してください。

| 型番 | DiF-GT20G | DiF-GT40G | DiF-GT60G |
|---|---|---|---|
| ディスク容量(*1) | 20GB | 40GB | 60GB |
| インターフェース | IEEE1394端子　（6ピン）×2ポート | | |
| セクタサイズ | 512byte | | |
| ディスク回転速度 | 5400rpm | | |
| シークタイム（平均） | 12msec以下 | 9.5msec以下 | 9msec以下 |
| データ転送速度 | 最大400Mbps（理論値）（*2） | | |
| 消費電力 | 最大17W | | |
| 温度範囲 | 10～35℃ | | |
| 湿度範囲 | 20～80%（結露無きこと） | | |
| 外形寸法 | 44(W)×122(H)×216(D)mm | | |
| 電源 | AC100V　50/60Hz | | |
| 対応機種 | ・i.LINK(IEEE1394)端子標準搭載のDOS/V機および NEC製PC98-NXシリーズ<br>・弊社製IFC-IL3(/DV)、IFC-ILCB2(/DV)、IFC-ILP(/DV)、IFC-ILCB(/DV)のいずれかを搭載した DOS/V機およびNEC製PC98-NXシリーズ<br>・FireWire（IEEE1394）端子標準搭載のMacintosh | | |
| 対応OS　DOS/V機、PC98-NX | WindowsMe、Windows98 Second Edition、Windows2000 | | |
| 対応OS　Macintosh | Mac OS8.5.1以降 | | |

*1　記載のハードディスク容量は、1GB＝$1000^3$byteで計算しています。OSやアプリケーションでは1GB＝$1024^3$byteで計算されているため、表示される容量が異なります。

*2　使用しているパソコンの機種によって異なります。

## ■保証書について

本製品には、保証書が添付されております。この保証書は、本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。お客様が無償修理を要求する場合に必要となりますので、保証期間、製品名および製品シリアルNo.が記載されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。

## ■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとしてご登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。
※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合でも、ユーザー登録は変更できません。

## ■ 修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページ(本書裏表紙参照)にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

① 返送先 ［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
② 平日昼間の連絡先
［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 ［始めから/ある日突然/環境を変えたら］
⑧ 発生頻度 ［必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他］
⑨ コンピュータ ［本体メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑩ ハードディスク ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑪ ディスプレイ ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑫ その他周辺機器 ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑬ OS(オペレーティング・システム)
［ソフト名/メーカ名/バージョン］
⑭ 製品以外の添付品 ［付属ソフトなど］

| 製品送付先 | 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15<br>株式会社メルコ 修理センター宛 |
|---|---|
| 電話番号 | 052-619-1289 |

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンター(裏表紙に記載)へお願いします。
※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断り致します。
※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社は責任を負いかねますので、輸送会社に別途保証をしていただくなどの措置を取ってください。
※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ ハードディスクなどの記憶装置をお送りいただいた場合、その記憶装置はフォーマット致します。また、記憶装置を修理する場合は、データが記憶されているディスク部分を交換することがございます。お送りいただく際、必要なデータは必ず事前にバックアップを作成しておいてください。
※ 修理期間は、製品の到着後7日程度(弊社営業日数)を予定しております。

**DiF-GTシリーズ ユーザーズマニュアル**

2001年4月10日 第5版発行
発行　　株式会社メルコ

## 弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

http://www.melcoinc.co.jp/

製品サポート

### インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

<東　京>　03-5350-7990

月〜金 9:30〜12:00/13:00〜19:00　※祝日を除く

土/祝 9:30〜12:00/13:00〜17:00　※年末年始と日曜日を除く

<名古屋>　052-619-1188

月〜金 9:30〜17:00　※祝日を除く

※ 事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
- コンピュータ名と使用OS
- 本製品の製品名とシリアルナンバー
- 現象（具体的なエラーメッセージなど）

※ 受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は弊社ホームページでご確認ください。